

西  
開成町

## ～「あじさいまつり」で「かざぐるま」～

開成町青少年指導員連絡協議会 会長 八子 講三

神奈川県で面積がいちばん小さい開成町の青少年指導員15人の1年の活動は、「あじさいまつり」での「かざぐるま」作りで始まります。6月に町開催の「あじさいまつり」は来場者が年々増加し、「かざぐるま」の製作体験は老若男女問わず人気のイベントとなっています。竹取など事前準備は大変ですが、当日は中学生のボランティアが製作指導を体験します。人に教える事の難しさなどを知る良い経験となります。これらの苦労も、体験参加者の笑顔が吹き飛ばしてくれます。

次の行事が7月に2泊3日で御殿場の国立中央青少年交流の家で行うサマーキャンプです。小学5年生から中学生を対象に実施しています。子どもたちに人気の行事です。基本的に子どもたちは自炊を行います。包丁や火を扱いますので、指導員も細心の注意を払います。



富士山双子山ハイキングでの集合写真

今年のサマーキャンプでは富士山双子山ハイキングを行いました。足元が火山灰で歩きづらく子どもたちも励まし合いながら歩きます。弱音を吐くのは指導員が先ですが、苦労して歩いたこともあり、双子山からの景色にみな達成感を感じました。キャンプファイヤーでは、子どもたちは事前の説明会でグループごとに考えて来た出し物で盛り上がります。

キャンプでは学校や家庭の生活と異なる体験をする事で、仲間との助け合いや協力など人を思いやる気持ちを学びます。子どもたちの嬉しそうな顔を見られるよう指導員一同頑張ります。



かざぐるま作りの様子



横  
三浦市

## 平成 27 年度 うどん祭り

三浦市青少年指導員連絡協議会 会長 出口 正雄

三浦市青少年指導員連絡協議会は、三崎・南下浦・初声の各地区から現在60名の指導員が委嘱されており、地区活動の他、専門部会として子どもの心研究委員会・環境を考える委員会・広報委員会のいずれかに所属しています。

協議会の主な事業は、地域情報交換会や青少年健全育成団体合同研修会など、年間を通して様々な事業を行っていますが、今回は、11月23日(月)にYMCA三浦ふれあいの村で開催された青少年との交流イベント「うどん祭り」についてご紹介します。

このイベントは、自然の中で協力して行う野外調理体験と交流を通して青少年の協調性やコミュニケーション力を育むほか、指導員活動の理解を深める場として毎年開催しており、今年は30名のスタッフと100名を超える参加があり、盛況のうちに開催されました。

当日は13グループに分かれ、参加者同士が協力し粉まみれになりながらも楽しく麺を仕上げました。

出来上がりの麺は個性たっぷり、通常30分程度で茹で上がるところ50分かかるといわれる程の極太麺や幅広の麺など色々でしたが、かき揚げをのせ温かい出汁をかけて皆で一緒においしく食べることができました。

また、子どもたちは食後にジュニアリーダーズクラブのお兄さん・お姉さんと一緒にレクリエーションゲームを行うなど、楽しい時間を過ごしました。

今後も家族のふれあいや子どもたちとの交流を深められる指導員活動を目指したいと考えています。



平成 27 年度 うどん祭り